

現代GP

2007年度文部科学省
現代的教育ニーズ
取組支援プログラム

contents

TOP

現代GPとは?

地域創成プログラムとは?

地域創成プログラムの全体像

人材育成

地域貢献

特集

派遣講師公開講座

イベント開催報告

実施報告書

「地域創成プログラム」実践
2007年度文部科学省「地域創成プログラム」実践
2008年度事業報告書2007年12月22日 運営記念
キックオフ・シンボルツム
実施報告書

お問い合わせ



特集「マイルポストの運営」

- 第1回 マイルポスト スタッフィングインタビュー（2009年01月26日UP）
- 第2回 マイルポスト スタッフミーティング（2009年02月02日UP）
- 第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議（2009年02月09日UP）

[第1回 マイルポスト スタッフィングインタビュー]



本学の学生が運営するまちづくりカフェ「カフェ&ベーカリー マイルポスト」が2009年1月末に、オープン2年目を迎えます。年の賀を押し詰まつた12月某日、定休日のカフェでは、学生スタッフや商店街関係者などが集まってミーティングが開かれていました。マイルポストの運営に携わっているさまざまな関係者に、この1年間を振り返って感じることや、今後の目標などを伺いました。

マイルポスト3代目店長 インタビュー



店長 松枝美帆さん

経済学部経済学科3年

—マイルポストの運営を通して学んだことを教えてください。

私はホールを担当していますが、オープンしたばかりのころは、先輩から「お客様に対する心遣いができるでない」と叱られることがありました。たとえば、お年寄りや子供さんが来店したときにドアを開けるなど、ちょっとした気配りができるでないことを指摘され、ああそうか…と思ったんです。そこで、できていないことを1日1個ずつ改善するよう心がけて接客をるようにしました。また、どんな気遣いをしてもらったかを自分なりに研究して、それを実践したんです。今ではオープン当初に比べ、すいぶんお客様への気遣いができるようになったと思います。

つい最近、お客様から嬉しい言葉をかけていただくことがあります。車椅子のお客様が来店されたとき「ここはいつも笑顔でアドバイスをしてくれるから、また来なくなるね」と言ってくださいました。とても嬉しくて、もっといい接客をしようという励みになりました。

—店長に抜てきされたとき、どんな気持ちでしたか。

2008年9月から3代目店長を務めていますが、最初は「私でいいのかな」という不安がありました。私はこれまで人の上に立ったことはありませんし、前の店長を見ていて、とても責任の重い仕事だと感じていました。でも、学生時代に店長としてカフェの運営を任されるということは、めったにない貴重な経験ですし、この店への強い愛着があったので、頑張ってやってみようと思いました。



実際にやってみると、副店長やスタッフのみんながサポートしてくれるで、店長だからと気負うことなくリラックスして仕事をさせてもらっています。立場上、いろいろな人と交流させていただける機会も多く、いろいろな面でやりがいを感じます。

—今後の目標を教えてください。

マイルポストをもっと地域に浸透させていく、ここがコミュニティの拠点になるようにしたいです。また、毎回好評の「親子バインディング教室」などのイベントを通じて、より一層地域交流に貢献したいですね。さらに、フェアトレードも、もっと地域に広めていきたいです。私はこのマイルポストに参加して、はじめてフェアトレードについて知りました。ここで雑貨やコーヒーなどを提供することで国際貢献や社会貢献につながるので、社会人になってからもこの経験を生かし、フェアトレードを広める活動をしていきたいです。

学生スタッフの声



副店長 土方恵太さん

経済学部政策学科3年

「大学生生活が充実しています」
地域のイベントを企画したり、いろいろな人と交流したり、マイルポストの活動を通じて多くの経験をすることができ、生活や人生が充実しているのを感じます。よい大学生生活を送るために自分次第だと思うのですが、私はマイルポストに参加していることで、とても充実した生活を送っていると感じています。これから本格的に就職活動の時期を迎えますが、採用面接のときはもちろん、社会人にあってからもマイルポストでの経験を生かしていきたいです。



古橋健太さん

外国語学部国際文化協力学科2年

「自分自身が大きく成長できるチャンスです」
7月に「キャンドルナイト」というイベントを開催したのですが、環境クイズという企画をやることになり、僕も環境やフェアトレードについていろいろ調べました。調べてみると知らないことが多い、「知るって楽しい。もっと勉強しよう」と思うようになりました。社会人になれば、自分の企画が通るというのは大変なことだと思います。学生の僕たちがマイルポストでいろいろなイベントの企画を立て、実行できるのはとてもいい勉強になりますし、自分自身が大きく成長できるチャンスだと思っています。



長野稔輝さん

商学部情報ビジネスコミュニケーション学科2年

「お客様が喜ぶメニューを考えるのが楽しい」
マイルポストには、自分たちで考えて実行するという楽しさがあります。僕自身はキッチンデザートを担当しているので、「お客様に喜んでもらうためにどんな美味しいものを作ろうか」と考える楽しみもあります。秋はカボチャ、冬はミカンなど、季節感のある食材を使うことにこだわって、インターネットのレシピ情報を参考しながらメニューを考えます。お客様から「美味しい」と言っていただけると嬉しいですし、これからも頑張って美味しいデザートを作ろうという意欲が湧きます。

Next>>

第2回 マイルポスト スタッフミーティング

▲このページのトップへ

現代GP

2007年度文部省
現代的教育ニーズ
取組支援プログラム

contents

- TOP
- 現代GPとは？
- 地域創成プログラムとは？
 - ▶ 地域創成プログラムの全体像
 - ▶ 人材育成
 - ▶ 地域貢献
- 特集
- 派遣講師公開講座
- イベント開催報告
- 実施報告書
 - ▶ 「地域創成プログラム」の実践 2007~2009年度 報告書
 - ▶ 「地域創成プログラム」の実践 2008年度事業報告書
 - ▶ 2007年12月22日 選定記念 キックオフ・シンポジウム 実施報告書
- お問い合わせ



- 第1回 マイルポスト スタッフインタビュー（2009年01月26日UP）
- 第2回 マイルポスト スタッフミーティング（2009年02月02日UP）
- 第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議（2009年02月09日UP）

I 第2回 マイルポスト スタッフミーティング

マイルポストを運営する学生スタッフを中心に、大学職員や担当委員の水野教授が参加するスタッフミーティングが行われました。このミーティングでは、売上報告やメニュー提案、フェアトレード商品のチェック、イベント企画の進行状況など、さまざまなテーマが話し合われます。店長や副店長はもちろん、スタッフ一人ひとりが役割を持っていますので、意見交換やアイデア提案などが活発に交わされます。このように、マイルポストの運営はスタッフの熱意と努力によって支えられています。

**まちづくり推進委員会 水野教授インタビュー**

マイルポスト担当委員
経済学部 水野晶夫教授

一名古屋で1年間マイルポストを運営して実感することは。

瀬戸でのマイルポストの活動と比較すると、名古屋はまったく違うということを実感します。瀬戸の商店街の場合、土・日になると大勢の観光客の方がいらっしゃいますし、2カ月に1度ぐらいの割合でイベントがあったので、そういうときには多くの集客がありました。でも、こちらは逆で、平日や土曜日はお客様が多いのですが、日曜日になるとガクッと減ります。立地条件の良いこの地域には企業も多く、昼どきにはビジネスマンがランチを利用するということもあって、平日にお客さんが集中するのです。オープンから半年も過ぎると、そういうことが見えてきましたので、定休日を日曜日に変更するなど、地域性に合わせた営業スタイルに変えていました。この1年間、日々改善をしながら、学生も私も一生懸命やってきました。

マイルポストの目的は「まちづくり」であり、地域に貢献できることをやろうということから始まっています。まちづくりを進めいくためには、地域の方々とのコミュニケーションがとても大事になります。そこで、人が集いやすくて話しやすいということでカフェを運営することになりました。このコンセプトは名古屋でも継承していますが、店づくりについては、瀬戸での問題点を改善して名古屋独自のスタイルになっています。

例えば、瀬戸ではパスタメニューを提供していたのですが、トマトソースとホワイトソースなど一度に違う料理のオーダーが入ると、短時間で調理するのは大変でした。そうした経験から、名古屋では事前に仕込んでおけばすぐに提供できるベーカリースープがメインメニューに決まったのです。このように、名古屋のマイルポスト運営には瀬戸での反省点が生かされています。

一商店街の方々とは、どのような関係を築いていますか。

こちらの場所にマイルポストを出店するときから日比野商店街さんにはいろいろご尽力いただき、スタート時からとてもいい協力関係を築いていると感じます。瀬戸の銀座通り商店街が「がんばる商店街77選」に選ばれたという活動実績に対しても、良い評価をいただいています。街の中にある日比野商店街は、シャッター通りなどの深刻な問題を抱えているわけではありませんが、それでも商店街の方々は危機意識を持っておられ、商店街の活性化をめざして工夫をしていきたいというお話を伺っています。



こちらに移転してきてわかったのですが、日比野はおもしろい地域資源を持っている場所なのです。たとえば、本学の白鳥学舎の西側に、「なんじやもんじやの並木道」がありますが、5月に白い縞のような花が一面に咲いて見事な景色となり、メディアで取り上げられて話題になります。ほかにも、中央卸売市場や国際会議場、白鳥庭園など、バラエティーに富んだ地域資源を持っています。そうした地域資源の楽しみ方を握りこぎして地域の活性化につなげていくことも、これから取り組んでいかたいと考えています。

一マイルポストの今後の予定について教えてください。

現在、マイルポストの活動を実りあるものにするために、商店街や行政と共同でプロジェクトを実行しています。例えば、好評のパン作り教室は、熱田区と共同で実行委員会を立ち上げて実施しているイベントです。現在進行中のものでは、社会福祉協議会との共同企画で、地域の授産施設の方々に協力いただきてバザーを実施しようという計画があります。そのように地域の公的な機関と連携しながら、丁寧に地域づくりにかかわっていくスタイルを構築しているところです。

さらに、マイルポストは来年の新たな取り組みに向けて動き出しています。今年、熱田区の生涯学習センターで、日比野地区のまちづくりの講座を行いました。その講座の受講者の中から、実際に日比野のまちづくりと一緒にやっていこうというグループが立ち上がり、活動をしていくことになったのです。最近、「つながり力」という言葉をよく聞きますが、まちづくりにおいても、名門校機関が良いつながり方をすることで成果を得られると思います。マイルポストを拠点として、地域に貢献できる活動を一つずつ丁寧に続けていきたいと思っています。

Next>>

第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議は2月9日アップ予定です。

▲このページのトップへ

現代GP

2007年度文部科学省
現代的教育ニーズ
取組支援プログラム

contents

■ TOP

■ 現代GPとは？

■ 地域創成プログラムとは？

- ▶ 地域創成プログラムの全体像

- ▶ 人材育成

- ▶ 地域貢献

■ 特集

■ 派遣講師公開講座

■ イベント開催報告

■ 実施報告書

- ▶ 「地域創成プログラム」の実践
2007～2009年度 報告書

- ▶ 「地域創成プログラム」の実践
2008年度事業報告書

- ▶ 2007年12月22日 選定記念
キックオフ・シンポジウム
実施報告書

■ お問い合わせ



■ 第1回 マイルポスト スタッフインタビュー (2009年01月26日UP)

■ 第2回 マイルポスト スタッフミーティング (2009年02月02日UP)

■ 第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議 (2009年02月09日UP)

I 第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議

スタッフミーティング終了後には、日比野商店街活性化プロジェクト会議が行われました。このプロジェクトは、本学と名古屋市が連携協定を結んだことによって立ち上がったものです。日比野商店街を活性化するための事業プランを立て、毎月2回、推進会議を行っています。会議にはマイルポストのスタッフをはじめ、日比野商店街の代表者、名古屋市の担当者などさまざまな関係者が集まり、プランの進行状況などを話し合います。この日のメインの議題は、間もなく開催される17回目の商店街イベントについて。商店街イベントの運営に学生が参加するのは初めてとあって、関係者は大いに期待しているようです。



プロジェクト関係者インタビュー



日比野商店街振興組合
近藤一磨 副理事長

一商店街にとってマイルポストはどのような存在ですか。

私は、日比野商店街がもっと学生さんが行き交う活気のある町になってほしいと願っているので、マイルポストさんがその交流の拠点となってくれることを期待しています。マイルポストさんがオープンして1年ほど過ぎましたが、商店街にはまだ“学生の町”と言えるほどの賑わいは感じられないで、私たちももっと努力していかなければならないと思っています。イベントなどを通じて学生さんと交流できるのはとても有意義なことですので、今後もマイルポストさんと協力して、さまざまな活動に取り組んでいきたいですね。

マイルポストの活動に期待することは。

この地域は高齢者層が多いので、お年寄りが気軽に交流できる場を設けることが大切です。地域のイベントなど、マイルポストさんの活動によって幅広い世代の人たちが交流する機会が増えていますので、商店街も積極的に活動をサポートしていきたいです。今度、17回目の日比野商店街のイベントが開催されますが、学生さんが参加することでこれまでとは違ったイベントになるだろうと、とても楽しみにしています。



名古屋市市民経済局地域商業課
商店街係 柿澤修一 主事

一名古屋市とマイルポストの関係について教えてください。

名古屋市では商店街の活性化活動をサポートしており、マイルポストさんとの協力関係は、2007年10月1日に「名古屋学院大学と名古屋市との連携協力に関する協定」を締結したことから始まっています。瀬戸での活動で一定の成果を得られた名古屋学院大学さんが、名古屋でも継続して取り組みをしていくということで、協定を結んで行政が支援することになったのです。マイルポストさんの運営が軌道に乗ってきたこともあり、来年度から具体的に活動をしていこうということで、今年の10月からこのプロジェクト会議がスタートしました。

マイルポストの活動に期待することは。

全国的に、大学が商店街や地域と連携して活動する“商学連携”という動きが活発になっており、名古屋市でも多くの商学連携の取り組みが行われています。大学の専門的な知識や、学生さんの斬新なアイデアが、商店街にとって大変貴重な力になっているということです。また、学生さんにとっては、机上で学んだことを実践して自分を成長させる、いい機会となっています。

日比野商店街は、商店街としてはそれほど古くはありません。ですが、地域全体としては高齢化が進んでいる地域と言えます。ですから、日比野商店街には高齢者の身近な買い物の場として、ぜひ頑張り続けていただきたいですし、マイルポストさんと協力し合いながら、触れ合いの場づくりなどの活動に取り組んでいただくことを期待しています。

▲このページのトップへ